

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年	第3学年	類型	Ⅱ型文系
単位数	3単位	教科書	詳説 日本史B 改訂版（山川出版社）				
補助教材							

学習目標	我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の確立	・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。 ・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ・江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。	中間 考査
	5月	第7章 幕藩体制の展開	・幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 ・17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。	
	6月	第8章 幕藩体制の動揺	・江戸中期に確立した洋学や国学、新たな形で展開する文学・芸能・美術について、社会の変容に伴う幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 ・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。	
	7月			期末 考査
2 学期	8月	第Ⅳ部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 ・明治初期の対外政策について、欧米への対応と、アジアに対する外交政策の違いについて考察する。 ・日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。 ・立憲体制成立後から桂園時代にいたるまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の対立と協力の視点から考察する。	中間 考査
	9月			
	10月	第10章 二つの世界大戦とアジア	・第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察する。	
	11月	第11章 占領下の日本	・第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	期末 考査
12月	第12章 高度成長の時代	・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。		
3 学期	1月	第13章 激動する世界と日本	・ドル＝ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。	学年 末考査
	2月	自宅学習		
	3月			

学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義型の授業を中心としたうえで、動画や画像などの資料を活用する。</li> <li>・グループワークやペアワークの時間をとり、生徒が主体となって考える時間をつくる。</li> </ul>
-------	---

評価の観点	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用技能	④ 知識・理解	⑤
	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に研究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする態度を身に付けている。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断することができる。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有効な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追及する方法を身に付けているとともに、追及し考察した過程や結果を適切に表現することができる。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。	
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査				